

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## **IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)日本特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-238169

(43)公開日 平成10年(1998) 9月8日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

E 0 4 H 15/04

E 0 4 H 15/04

// B 6 0 N 3/00

B 6 0 N 3/00

Z

審査請求 未請求 請求項の数5 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平9-55525

(22)出願日 平成9年(1997) 2月24日

(71)出願人 000203357

村田 亨一

大阪府堺市庭代台4丁18番14号

(72)発明者 村田 亨一

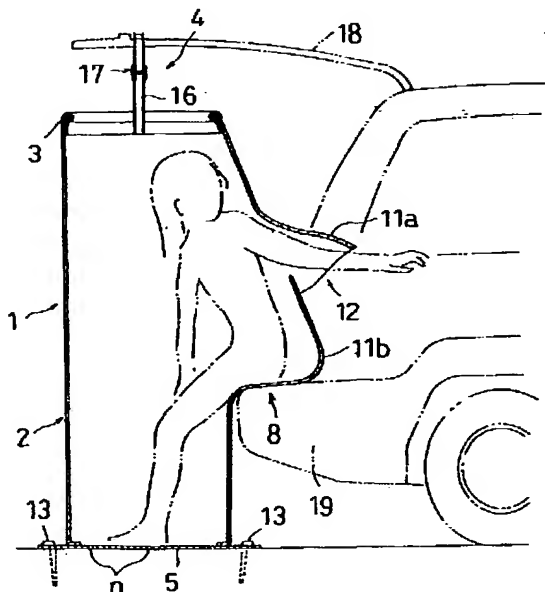
大阪府堺市庭代台4丁18番14号

(54)【発明の名称】 可搬式の脱衣用カーテン

(57)【要約】

【課題】 脱衣空間が狭くとも、態勢を崩すことのない楽な姿勢で着替えをすることのできる可搬式の脱衣用カーテンを提供する。

【解決手段】 可搬式の脱衣用カーテン1として、可撓性の材料から成る筒状カーテン2の筒口一端側に、この筒口を開口させて保形する保形手段3と、筒状カーテン2を引き延ばして吊り下げ保持するための吊り下げ保持手段4とを設け、かつ、筒状カーテン2の周面部に、口閉じ手段6を備えた出入口7と、外方への膨出部8とを形成している。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 可撓性の材料から成る筒状カーテンの筒口一端側に、この筒口を開口させて保形する保形手段と、筒状カーテンを引き延ばして吊り下げ保持するための吊り下げ保持手段とを設け、かつ、筒状カーテンの周面部に、口閉じ手段を備えた出入口と、外方への膨出部とを形成して成ることを特徴とする可搬式の脱衣用カーテン。

【請求項2】 膨出部の近傍に、蓋付きの小物出し入れ口を形成してある請求項1記載の可搬式の脱衣用カーテン。

【請求項3】 筒状カーテンの筒口他端側に、その筒口を地面に固定するためのベグの挿通部を設けてある請求項1又は2記載の可搬式の脱衣用カーテン。

【請求項4】 筒状カーテンの筒口他端側に、その筒口を閉じるカーテン底地を設けてある請求項1乃至3のいずれかに記載の可搬式の脱衣用カーテン。

【請求項5】 筒状カーテンの筒口他端側に、その筒口を開口させて保形する保形手段を設けてある請求項3又は4記載の可搬式の脱衣用カーテン。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、手軽に持ち運びができる可搬式の脱衣用カーテンに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】例えば自動車を駆って、海辺に出向き、砂浜を散歩したり、泳いだり、ボードで波乗りをしたり、水上バイクで楽しんだりするスポーツレジャーや、モーターキャンプ場などに出向いて、自然と接したり、野外料理を楽しんだりするレジャーなどに際しては、現地 30 で水着に着替えたり、スポーツや野外料理などにマッチした服装に着替えたりするが、その着替えのための脱衣設備が整っていないことが多々あって、着替えに難儀することがあった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようなことから、簡易のテントや可撓性材料から成る筒状カーテン等が、脱衣設備として普及し始め、これらを携行して、現地でテントを組み立てたり、筒状カーテンを立木に吊り下げたりして、着替えを行っている。しかし、簡易ではある 40 と言ってもテントは高価であり、その上、重くて嵩張ることから、取り扱いの面で不便であった。

【0004】一方、筒状カーテンの場合は、安価で且つ取り扱いが便利ではあるものの、軽量化を図る上で、その脱衣空間が、どうにか大人一人が脱衣できる程度の大きさに形成されることから、脱衣に際しては、狭い空間内で身を屈めたり中腰になったりすることが強いられるもので、非常に疲れる点で問題があった。また、中腰になって片足立ちした際に態勢を崩して、筒状カーテンに倒れ込むように転倒したり、思わず筒状カーテンを握り 50

持ったりして、立木などに吊り下げられている筒状カーテンを引き外してしまうこともあったのである。

【0005】本発明は、かかる実情に鑑みて成されたもので、狭い空間内での脱衣を、態勢を崩すことなく楽に行えるようにした取り扱いの便利な可搬式の脱衣用カーテンを提供することを目的としている。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】即ち、本発明は、可撓性の材料から成る筒状カーテンの筒口一端側に、この筒口を開口させて保形する保形手段を設け、かつ、筒状カーテンの周面部に口閉じ手段を備えた出入口を形成すると共に、筒状カーテンの周面部の上下中間部には外方への膨出部を形成し、更に、筒状カーテンを引き延ばして吊り下げ保持するための吊り下げ保持手段を備えさせて、可搬式の脱衣用カーテンを構成したのである。

【0007】上記の構成によれば、例えばボディの後部に、下開きのドアや、観音開き或いは片開きのドアを備えた自動車を駆って、現地で着替えをするような場合、下開きのドアをフルオープンにして、このドアに筒状カーテンを吊り下げ保持させたり、或いは、観音開きや片開きのドアをフルオープンにして、例えばボディ後部の開口縁部と後部ドアの上縁部とにわたってポールを架け渡し、これに筒状カーテンを吊り下げ保持させたりする。この際、筒状カーテンの外方への膨出部を、自動車のリアバンパーや荷台後部などに乗せ掛けるのであり、このようにすれば、筒状カーテンの脱衣空間が狭くとも、リアバンパーなどに腰を掛けることで、中腰になったり片足立ちになったりすることなく、楽な姿勢で着替えをすることができるのであり、かつ、態勢を崩すこともないので、筒状カーテンを引き外してしまうこともなくなる。

【0008】筒状カーテンの吊り下げ保持対象は、自動車に限られるものではなく、立木の枝や或いは立木の枝などに掛け渡した横バーなどに筒状カーテンを吊り下げ保持させてもよいのであり、この際、例えば携行した折り畳み椅子やクーラボックスなどを仮架台にして、これを膨出部の下部に設置し、この仮架台に腰を掛けることで、態勢を崩すことなく楽な姿勢で着替えをすることができるのである。

【0009】好ましくは、膨出部の近傍に、蓋付きの小物出し入れ口を形成して、腰を掛けた姿勢のままで、小物出し入れ口を通して、着替えた衣服などを荷台に持ち出したり、荷台に用意した小物を筒状カーテン内に取り込んだりできるようにすることである。筒状カーテンの筒口他端側にベグ挿通部を設けて、強い風が吹いても筒状カーテンの裾が捲くれ上がらないように、筒状カーテンの筒口を地面にベグ打ちすることも好適であり、或いは、筒状カーテンの筒口他端側に、その筒口を閉じるカーテン底地を設けることも好適であって、このようにすると、脱衣に際して、砂地などでも足が汚れない上に、

底地に体重がかかることで、筒状カーテンの裾の捲くれ上がりも防止される。

【0010】更には、筒状カーテンの筒口他端側にベグ挿通部を設けた上で、その筒口を開口させて保形する保形手段を設ければ、ベグ挿通部の位置決めが成されることでベグ打ち作業が容易になり、或いは、筒状カーテンの筒口他端側に底地を設けた上で保形手段を設ければ、筒状カーテンの筒口他端側にベグ挿通部を設けるだけの場合も同様であるが、筒状カーテンの上下の筒口が保形されて、吊り下げ状態で筒状カーテンが筒形状を保持することから、筒状カーテンが風に吹かれても、カーテン地が身体にまわり付き難くなり、着替えを楽に行うことができる。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は可搬式の脱衣用カーテン1の斜視図を示し、図2は脱衣用カーテン1を折り畳んで天地を逆にした折り畳みカーテン1の斜視図を示している。この脱衣用カーテン1は、大人一人がゆったりと脱衣できる程度の脱衣空間を形成する筒状カーテン2の筒口一端側に、この筒口を開口させて保形する保形手段（例えば、ワイヤを方形に折り曲げた金属製のものや、方形に成形された合成樹脂製のもの）3と、筒状カーテン2を引き延ばして吊り下げ保持するための吊り下げ保持手段4とを設ける一方、筒状カーテン2の筒口他端側には、その筒口を閉じるカーテン底地5を設け、更に、筒状カーテン2の周面部に、口閉じ手段6を備えた出入口7と、外方への膨出部8とを形成して成る。

【0012】筒状カーテン2は、外からの透視ができない不透明の可撓性シート材料、例えば、合成樹脂シートや、キャンバスなどの布、ナイロンと綿布などの混紡繊維などの防水処理が施された可撓性のシート材料から成り、例えば標準身長の人を覆い隠せる吊り下げ高さで、かつ、上述したように、大人一人がゆったりと脱衣できる程度の方形の脱衣空間を形成するように構成されている。

【0013】具体的には、この筒状カーテン2は、左右の正面シート部分9、9と、左右の側面シート部分10、10と、後面シート部分11とから成り、図4に示すように、正面シート部分9と側面シート部分10とを、これらを一枚ものにする状態でシート材料から切り出し、後面シート部分11を、上半分のシート部分11aと下半分のシート部分11bとに分けてシート材料から切り出し、かつ、図3に示すように、左右の側面シート部分10、10の後部側には、底辺を腰掛け深さにする三角形のシート部分10aを、その底辺をカーテン底地5からの腰掛け高さ程度に寸法設定して延設し、更に、この三角形のシート部分10aの斜辺部に、小さな三角形のシート部分10bを延設している。そして、シート部分11aの上下長さを、側面シート部分1

0のシート部分10bを含む上方の斜辺長さbに設定すると共に、シート部分11bの上下長さを、側面シート部分10の縁部長さc、d、eよりもやや長く設定している。

【0014】このようにして切り出した左右の正面シート部分9、9の上下の縁部（図1を参照）f、hを互いに止着して、この止着縁部f、h間に筒状カーテン2の脱衣空間に対する人の出入口7を形成し、かつ、左右の側面シート部分10、10の上部側にわたってシート部分11aを止着し、左右の側面シート部分10、10の下部側にわたってはシート部分11bを止着して、筒状カーテン2に、腰掛け部を構成する三角形の外方への膨出部8と、シート部分11aによる蓋付きの小物出し入れ口12とを備えさせているのである。

【0015】上記の保形手段3は、例えば、ピアノ線などのワイヤを方形に折り曲げた金属製や、方形に成形された合成樹脂製であって、筒状カーテン2の筒口一端側を袋縫いする際に、この保形手段3を袋部分に縫い込んで、筒状カーテン2の筒口一端側を開口状態に保形させるようにしている。

【0016】カーテン底地5は、筒状カーテン2の他端側の筒口よりも大であって、このカーテン底地5の四辺を筒口の外側に張り出させて止着し、かつ、このカーテン底地5の四隅に、筒状カーテン2の筒口他端側を地面に固定するためのベグ13の挿通部（例えば鳩目金具）14を設けている。尚、カーテン底地5並びに上記シート部分9～11の切り出し形状は、シート材料が繊維製品である場合の縁部のほつれが生じないように、その縁部の適宜の箇所を折り込み縫合する際の折り込み代や、シート部分どうしの縫い合わせ代、袋縫いの折り返し代などは見込まれていない形状であり、実際の裁断に際しては、これらの寸法代が見込まれることは言うまでもない。

【0017】口閉じ手段6は、この実施の形態では、出入口7の一方に所定の間隔を隔ててリボン15を設けると共に、このリボン15とこれに相対向する出入口7の他方とに面ファスナーi、jを設けて成るが、筒状カーテン2の内外いずれでも開閉操作が可能で、かつ、出入口7を完全に閉じ切ることができるスライド式のファスナー等に変更可能である。吊り下げ保持手段4は、保形手段3によって保形された筒口他端側の相対向する開口辺部に、それぞれが端部にフックmを備えたゴムベルト16、16を止着し、かつ、各ゴムベルト16の途中部分に長さ調整手段17を備えさせて成るが、一方の開口辺部にベルトを止着し、このベルトの端部に、他方の開口辺部を挟着するクリップを設ける構成などに変更可能である。

【0018】上記構成の脱衣用カーテン1によれば、図2に示すように、膨出部8と吊り下げ保持手段4とを脱衣空間内に押し込んで、筒状カーテン2をベース状に折

り畳み、このベース状の筒状カーテン2に、吊り下げ保持手段4のゴムベルト16、16を巻き掛けて、一方のゴムベルト16のフックmを他方のゴムベルト16の長さ調整手段17の金具に、又は図示しないが、各ゴムベルト16、16のフックm、mを互いに係止連結させることで、ベース状に折り畳んだ筒状カーテン2をコンパクトに纏めることができ、脱衣用カーテン1の持ち運び並びに取り扱いが極めて便利なものとなる。

【0019】この脱衣用カーテン1を車内に携行した自動車に駆って、例えば水泳やキャンプなどのレジャーを楽しむに際して、現地で水着に着替えたり、スポーツにマッチした服装に着替えたりする時には、図3に示すように、現地に駆った自動車が例えば下開きドア18を備えるものであれば、この下開きドア18をフルオープンにする一方、脱衣用カーテン1を車内から持ち出して、筒状カーテン2の折り畳み保持を兼ねた吊り下げ保持手段4を外し、筒状カーテン2を引き延ばして、吊り下げ保持手段4のフックm、mを互いに係止させる。そして、このゴムベルト16、16をフルオープンにしたドア18に巻き掛けて、筒状カーテン2を吊り下げ保持させることで、筒状カーテン2による簡易の脱衣設備を簡単に手に入れることができる。

【0020】この吊り下げ状態で筒状カーテン2が弛んでいるときは、ゴムベルト16、16の長さ調整し、かつ、カーテン底地5に備えたベグ挿通部14にベグ13を通して、これを地面に打設するのであるが、この筒状カーテン2の吊り下げに際しては、その三角形の外方への膨出部8を、自動車のリアバンパー19や荷台後部などに乗せ掛けるようにするのであり、このようにすれば、リアバンパー19などに腰を掛けて、楽な姿勢で着替えをすることができる上に、腰を掛けた姿勢のまま、小物出し入れ口12を通して、着替えた衣服などを荷台に持ち出したり、或いは、荷台に用意した小物を筒状カーテン2内に取り込んだりすることができるのである。

【0021】そして、筒状カーテン2の吊り下げ保持状態では、筒口一端側が保形手段3によって保形され、筒口他端側がベグ13によって地面に固定されて、筒状カーテン2が筒形状を保持することから、多少の強い風を受けても、筒状カーテン2の裾が捲くれ上がったり、カーテン地が身体にまとわり付いて、着替えの邪魔になったりすることもない。更に、カーテン底地5が存するの

で、砂地などでも足が汚れるようなこともない。尚、簡易シャワーを併用することを考慮して、図2及び図3に示すように、カーテン底地5に水抜き孔nを形成しておくことが好ましい。

【0022】脱衣用カーテン1を携行した自動車を利用しなくても、この脱衣用カーテン1の筒状カーテン2を立木の枝などを利用して吊り下げることができるのであり、或いは、立木の枝などにわたって横バーを掛け渡して、これに筒状カーテン2を吊り下げることのできるものであり、かつ、折り畳み椅子やビールケース等を携行しているならば、これらを仮架台にして膨出部8の下部に設置することで、この仮架台に腰を掛けて、楽な姿勢で着替えをすることができるのである。

【0023】上記の実施の形態では、筒状カーテン2の筒口他端側にカーテン底地5を設けて、これにベグ13の挿通部14を備えさせ、更に、小物出し入れ口12を設けているが、これらを設けることは必須の条件ではなく、また、筒状カーテン2の筒口一端側にのみ保形手段3を設けているが、筒状カーテン2の筒口他端側にも保形手段を設けてもよいのである。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の脱衣用カーテンにあつては、立木の枝などに吊り下げ保持される筒状カーテンに外方への膨出部を設けた点に特徴を有し、かかる構成によれば、脱衣用カーテンの使用に際して、上記の膨出部を自動車のリアバンパーや荷台後部、その他の仮架台などに乗せ掛けて、ここに腰を掛けることで、筒状カーテンの脱衣空間が狭くとも、態勢を崩すことのない楽な姿勢で着替えをすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】可搬式の脱衣用カーテンの斜視図である。

【図2】コンパクトに纏めた筒状カーテンの天地を逆にした斜視図である。

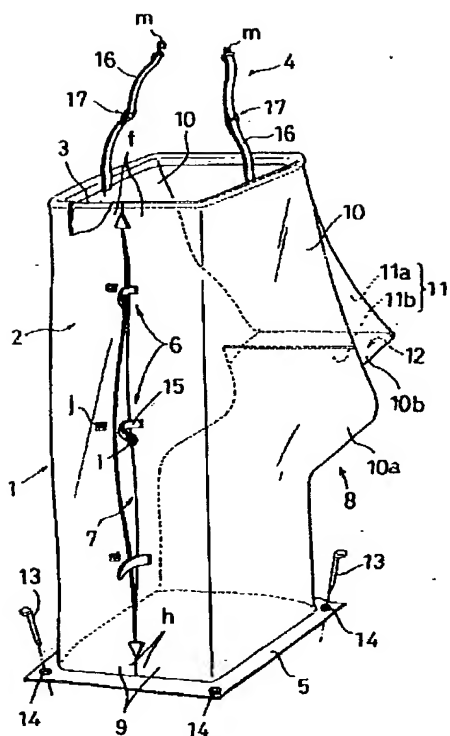
【図3】脱衣用カーテンの使用例を示す説明図である。

【図4】シート材料からのシート部分の切り出し説明図である。

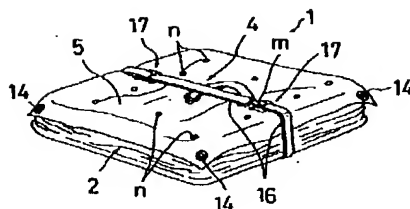
【符号の説明】

2…筒状カーテン、3…保形手段、5…カーテン底地、4…吊り下げ保持手段、6…口閉じ手段、7…出入口、8…膨出部、12…蓋付きの小物出し入れ口、13…ベグ、14…ベグ挿通部。

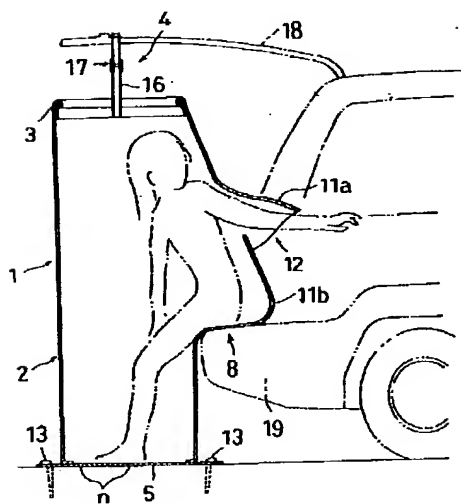
【図1】



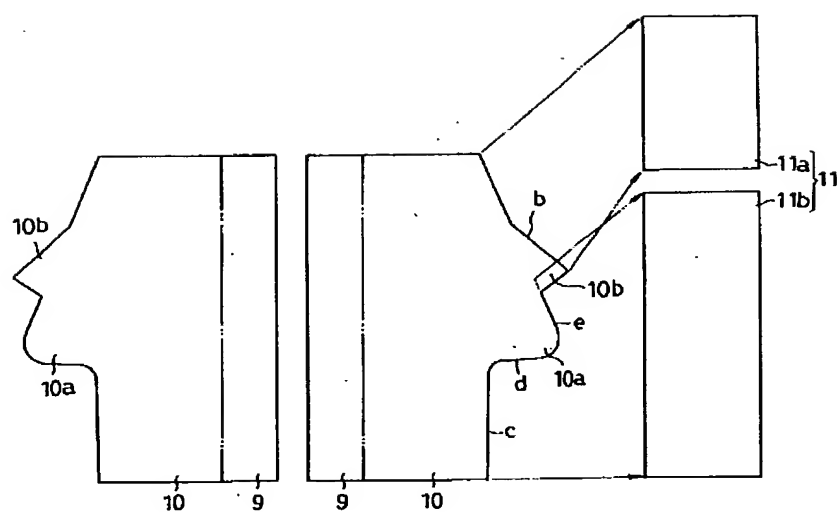
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP410238169A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10238169 A

TITLE: PORTABLE TYPE CURTAIN FOR CHANGE OF CLOTHES

PUBN-DATE: September 8, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MURATA, KYOICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

MURATA KYOICHI

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09055525

APPL-DATE: February 24, 1997

INT-CL (IPC): E04H015/04, B60N003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To perform a change of clothes at a relaxed posture without troublesome preparation even at a limited space.

SOLUTION: A portable curtain 1 for a change of clothes comprises a shape holding means 3 having a cylinder port being opened to one end side of the cylinder port of the cylindrical curtain 2 made of a flexible material, and a suspension holding means 4 to stretch the cylindrical curtain 2 and hold it in a suspending state. Further, an entrance having a port closing means and an expansion part 8 expanded in an external direction are formed in the peripheral surface part of the cylindrical curtain 2.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO